

IR説明会資料  
(2020年3月期決算説明)

黒田精工株式会社  
(証券コード：7726)

2020年6月16日

1. 会社概要、事業内容
2. 中期経営計画 2018年度～2020年度
3. 2019年度（2020年3月期）連結業績
4. 今後の取り組み

# 1. 会社概要、事業内容

# 会社概要（2020年3月末現在）

KURODA

社名	黒田精工株式会社
代表者	代表取締役社長 黒田 浩史
本社	神奈川県川崎市幸区
創業	1925年
上場市場	東京証券取引所第2部
資本金	1,892百万円
従業員数	連結 636名
主要事業	駆動システム事業、 金型システム事業 機工・計測システム事業

## 創業期

- 1925 日本最初のゲージメーカーとして創業
- 1935 ブロックゲージ 製造販売開始

## 技術基盤の確立

- 1946 精密プレス金型 製造販売開始
- 1953 平面研削盤 製造販売開始
- 1961 東京証券取引所に上場
- 1962 ボールねじ 製造販売開始

## 技術開発と新事業

- 1978 型内積層金型「FASTEC」製造販売開始
- 1987 超精密鏡面加工機スーパーポリシャーマンufacturing販売開始
- 1991 超精密表面形状測定装置ナノメトロ製造販売開始

## 事業再編とグローバル化

- 2005 車載 HEV 用モータコア量産開始
- 2008 金型内自動接着積層システム「Glue FASTEC」開発
- 2012 JENA TECグループを買収
- 2014 伊 Euro Group と業務提携 米国テネシー州に合弁会社
- 2016 Glue FASTECコア 量産車車載用モータへの採用
- 2019 かずさアカデミア工場新棟竣工 自動化ライン整備



精密技術を通じて世界の  
産業高度化をサポートする

常に新しいものに挑戦し  
新しい価値を創造する



## かずさアパティ工場 (千葉県)



精密研削ボールねじ  
アクチュエータ

## 旭工場 (千葉県)



転造ボールねじ  
アクチュエータ

## 富津工場 (千葉県)



平面研削盤、ポリシングマシン  
超精密平面形状測定システム  
各種ゲージ、精密治具、エコセーバー

## 長野工場 (長野県)



積層精密プレス金型  
高効率モーターコア  
精密金属プレス製品

### 【販売ネットワーク】

本社営業部、名古屋支店、大阪支店、  
太田営業所、西東京営業所、  
長野営業所、京都営業所

### 【国内関連会社】

クロダイインターナショナル(株)、  
永昇電子(株)、(株)ゲーシング  
日本金型産業(株)

# グローバル・ネットワーク

Jenaer Gewindetechnik GmbH (独)



韓国黒田精工株式会社 (韓)



KURODA JENA TEC INC. (米)



EURO GROUP S.P.A. (伊)  
提携先

Euro MISI Laminations (中)



KURODA PRECISION  
INDUSTRIES(M) SDN.BHD.  
(マレーシア)



平湖黒田精工有限公司  
(中)

日本  
Headquarters

Eurotranciatura  
Mexico S.A.deC.V.  
(メキシコ)

Eurotranciatura U.S.A LLC (米)  
合併会社



駆動システム  
事業

金型システム  
事業

機工・計測システム  
事業

精密  
加工

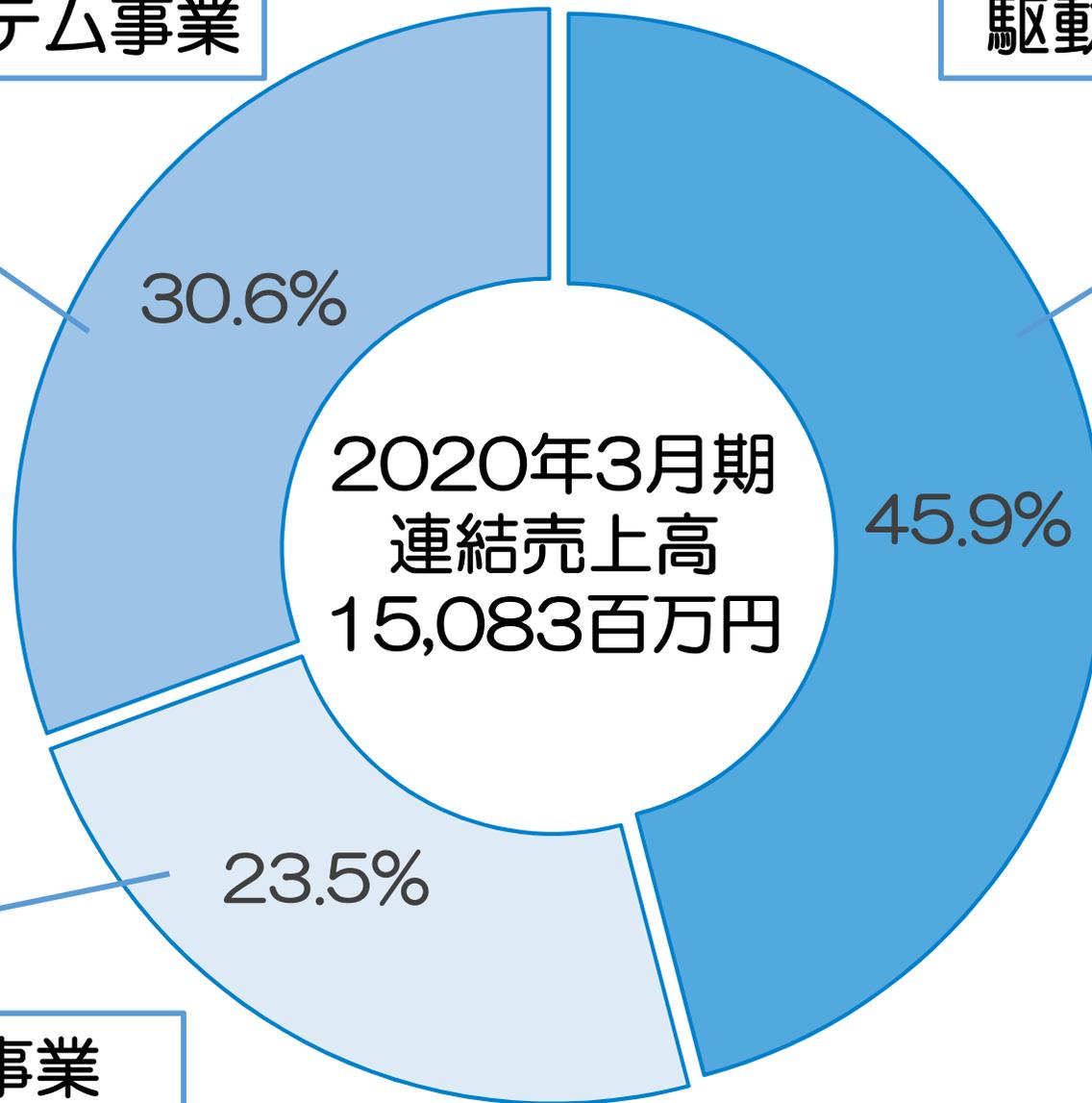
高精度研削技術  
高精度測定・計測技術  
高精度把持技術  
ラップ・ポリシング技術  
組付け技術  
解析技術

精密  
測定

精密ゲージ製造のノウハウ 「必要なものは自ら作る」  
⇒ 自社製研削盤、計測器、治具

機工・計測システム事業

駆動システム事業



金型システム事業

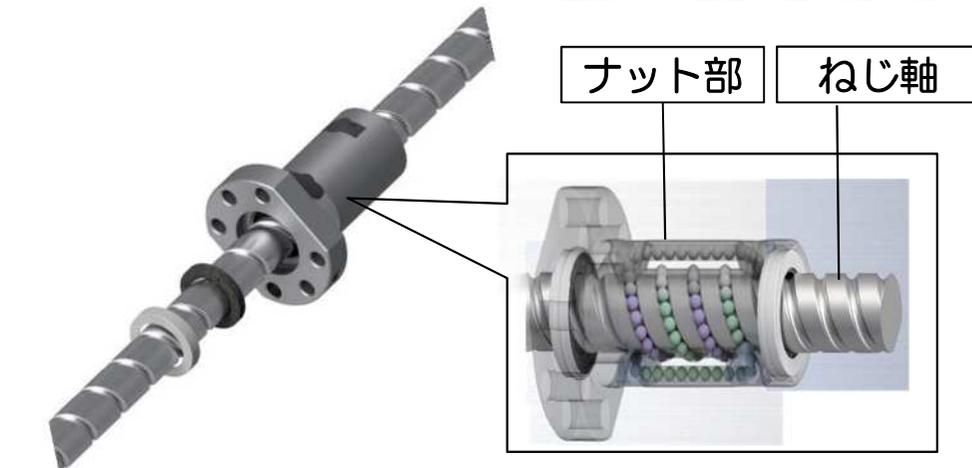
ねじゲージで培った技術を用いて、  
高精度ボールねじ、直動関連機器を製造

研削ボールねじ

転造ボールねじ

BSアクチュエータ

サポートユニット



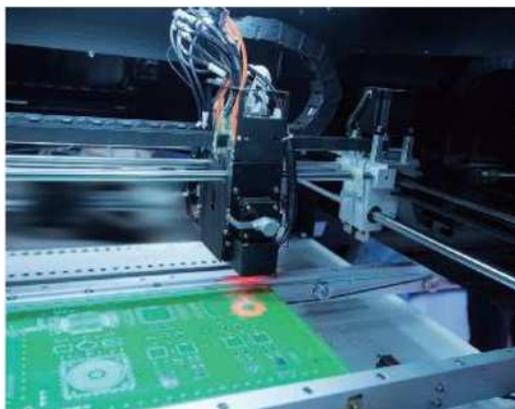
【ボールねじとは】

- モーター等の回転運動を直線運動に変換する機械要素
- 機械の正確な動作、位置決めに不可欠な部品
- ねじ軸とナット部間で多数の鋼球（ボール）が転がりながら無限循環することで、高い動作効率を実現できる。

## 用途例



工作機械



半導体製造装置



遠隔手術ロボット



検査・分析装置

## 【事業ビジョン】

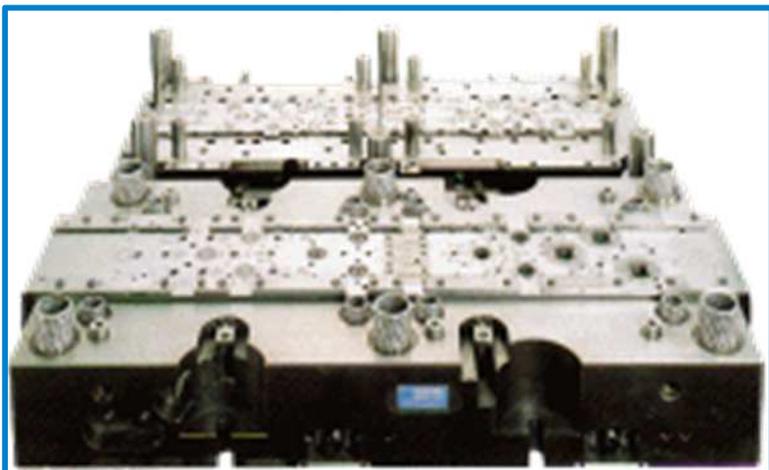
誰よりも早くお客様のニーズに応えられる  
小型直動システムメーカーを目指す！

【事業ビジョン】

高効率精密積層コアの  
スペシャリストを目指す！

精密治具などの研磨技術を原点として、  
精密積層プレス金型、モーターコア等の積層コアを製造

精密積層プレス金型



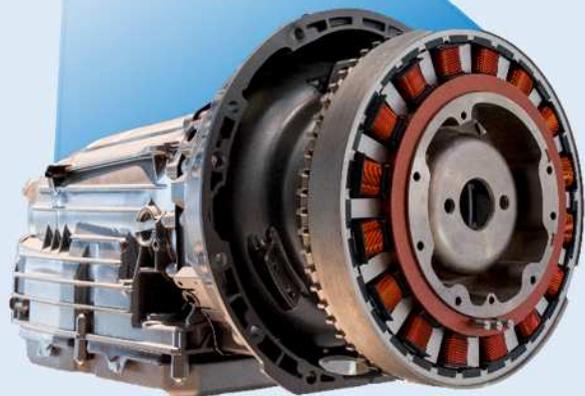
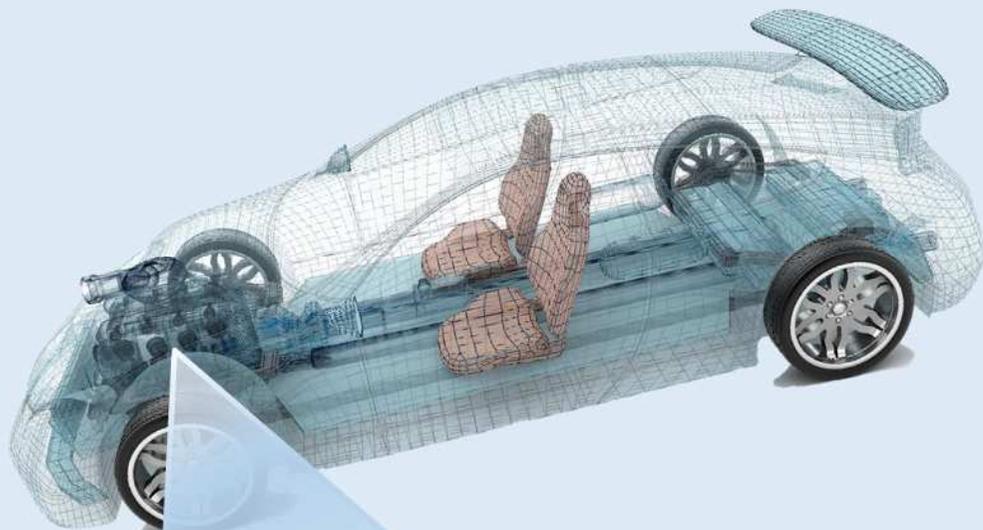
FASTEC

Laser FASTEC

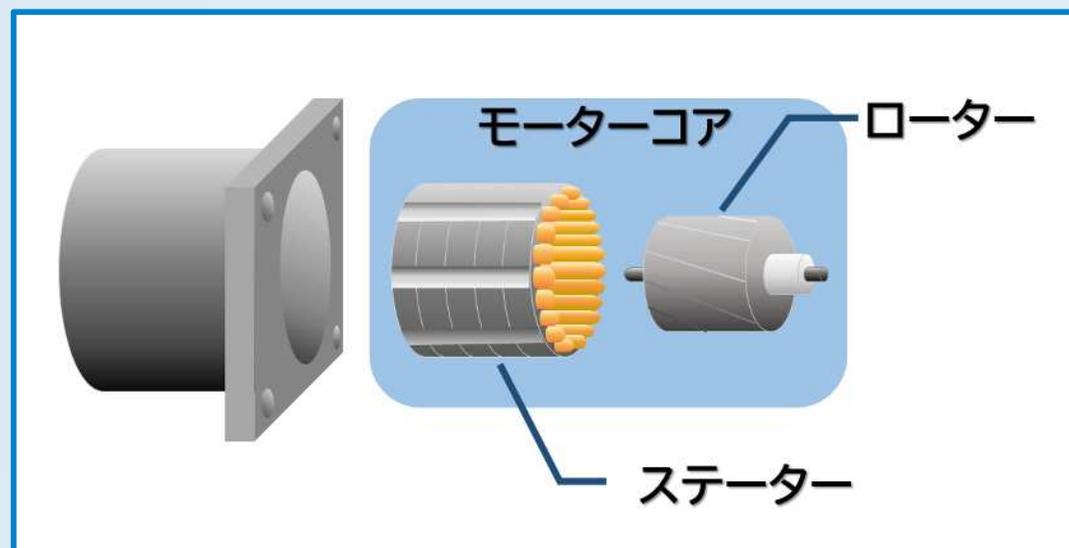
Glue FASTEC

モーターコア





- <モーターコア採用例>
- トラクションモーター
  - 車載モーター
  - サーボモーター
  - 家電用小型モーター



【事業ビジョン】

精密な計測と加工の

総合ソリューションプロバイダーを目指す！

ゲージ製造で培った技術を基に、超精密・高精度の測定/加工を可能にする、工作機械、各種計測機器、要素機器を製造

工作機械



加工

電子部品・金型部品  
医療機器部品・レンズ金型

精密測定システム



測定

シリコンウェーハ  
液晶ディスプレイ回路基板

ゲージ



加工・計測・検査

油井管・黒鉛電極・  
機械部品等の精度基準

ไฮドロリックツール



自動車部品/  
ロボット減速機

## MMラボ

- 商品説明
- ソリューション提案
- 加工体験、勉強会
- 社内教育



加工サンプル展示  
& 打合せエリア



お客様の加工体験



## 2. 中期経営計画 2018年度～2020年度

当社グループは、

- ◆ 精密技術を通じて世界の産業の高度化をサポートすることを使命とし、
- ◆ 3つの事業分野において世界的にニッチトップとなることを目指すとともに、
- ◆ 成長戦略の実行と収益力の強化、人財育成により企業価値の向上を図ります。

各事業においてグローバルニッチトップ  
利益を伴う成長 (Profitable Growth)

収益力強化

値決め経営

生産技術・IT

開発力強化

ロードマップ  
提案制度

VIPカスタマ-戦略

顧客関係強化

Plan For  
Key Customer

VIPカスタマ-戦略

人財育成・働き方改革

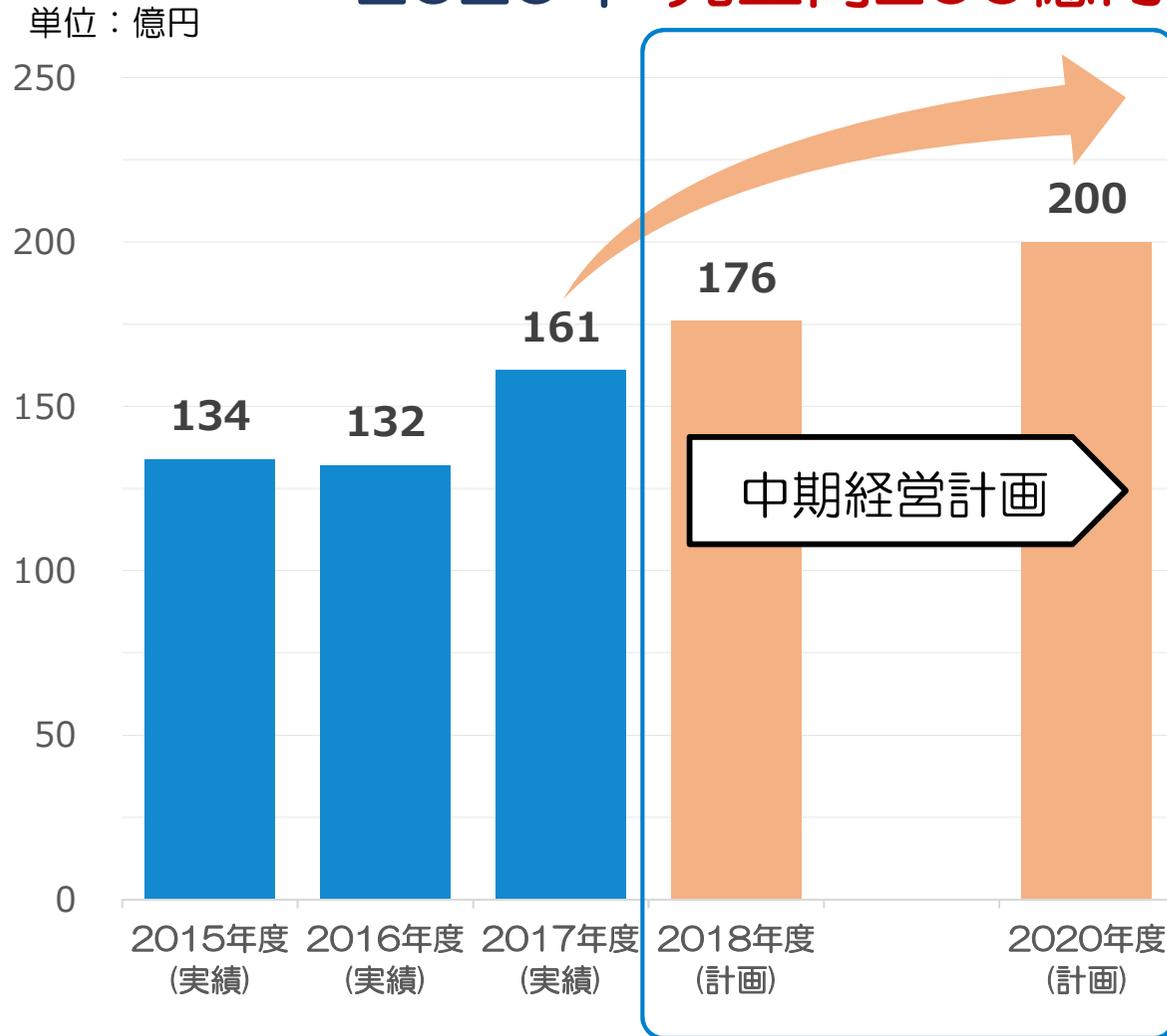
コンプライアンス・安全・健康・環境・品質

2018年度～2020年度に、増産・効率化を主目的とした  
 全社（連結）で約50億円規模の設備投資を計画

(単位：百万円)	2018年度 (実績)	2019年度 (実績)
駆動システム事業	592	830
金型システム事業	288	402
機工・計測システム事業	165	37

- ◆ 中期経営計画では事業部ごとに戦略的・重点的な設備投資を計画
- ◆ 駆動システム事業では、かずさ工場 2F 工場の新棟増設、ボールねじ生産自動化設備、旭工場の 7F 工場増産体制整備、海外子会社のボールねじ機械装置など。
- ◆ 金型システム事業では、EV 等大型モーターコアへの受注対応等を目的とした設備投資を実施。長野工場大型プレス機、周辺装置、及びマレーシア現地法人のプレス用機械設備など。
- ◆ 機工・計測システム事業では、工作機械の増産体制整備、生産性改善を目的とした設備投資、MM ラボの開設など。

## 2020年-売上高200億円



	2018年度 (計画)	2018年度 (実績)	2020年度 (計画)
売上高 (連結)	176 億円	177 億円	200 億円
営業利益	8.4 億円	12.7 億円	13.0 億円
ROE	5.3%	10.0%	7.9%

**中期目標：安定的に営業利益10億円を生み出す体制を確立する**

### 3. 2019年度（2020年3月期）連結業績

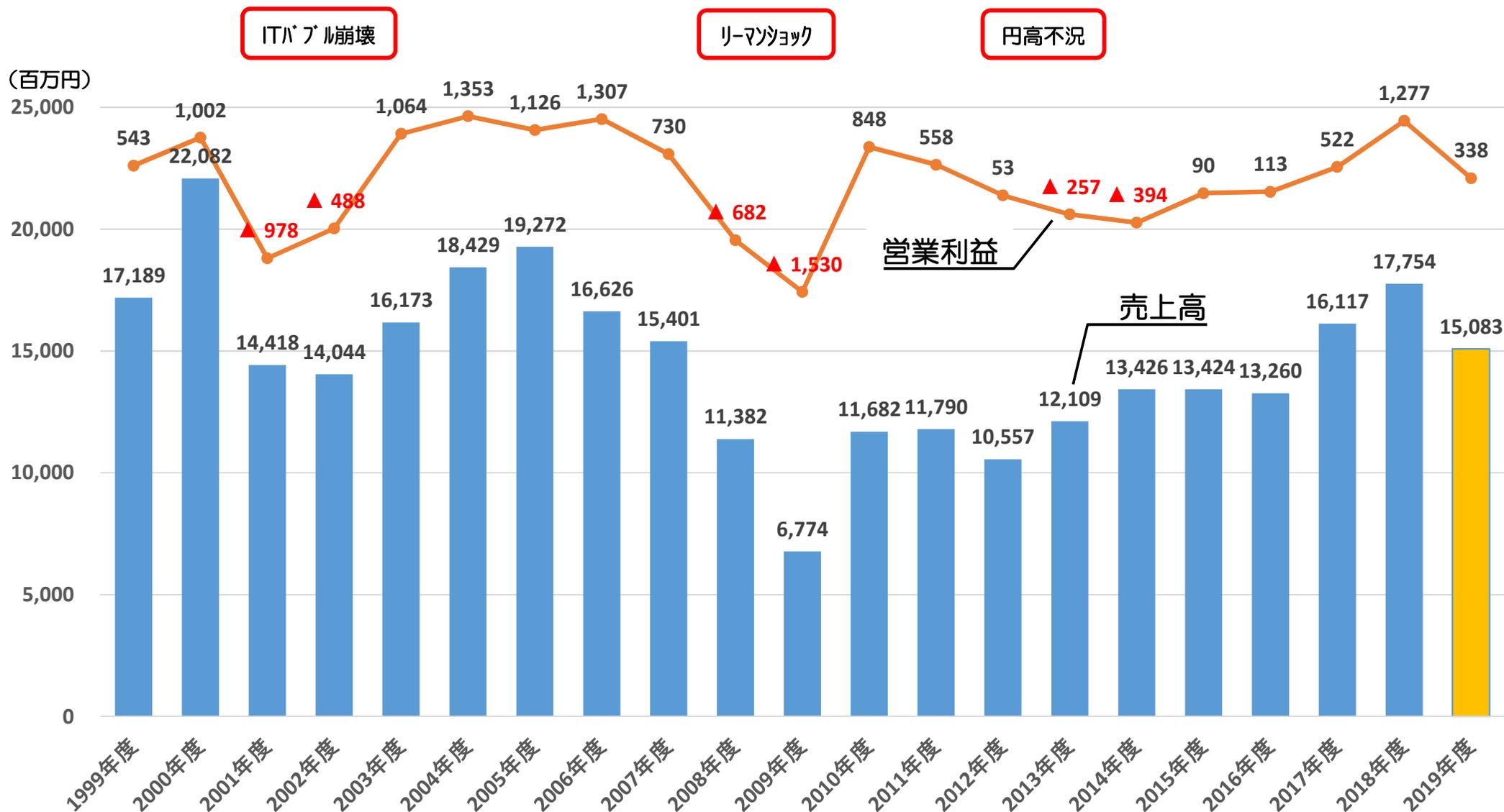
# 2019年度 連結決算概要

(単位：百万円)	2018年度 (2019年3月期)	2019年度 (2020年3月期)	増減
受注高	18,123	13,339	▲4,783
売上高	17,754	15,083	▲2,671
営業利益	1,277	338	▲939
経常利益	1,230	275	▲955
親会社株主に帰属する当期純利益	871	132	▲739



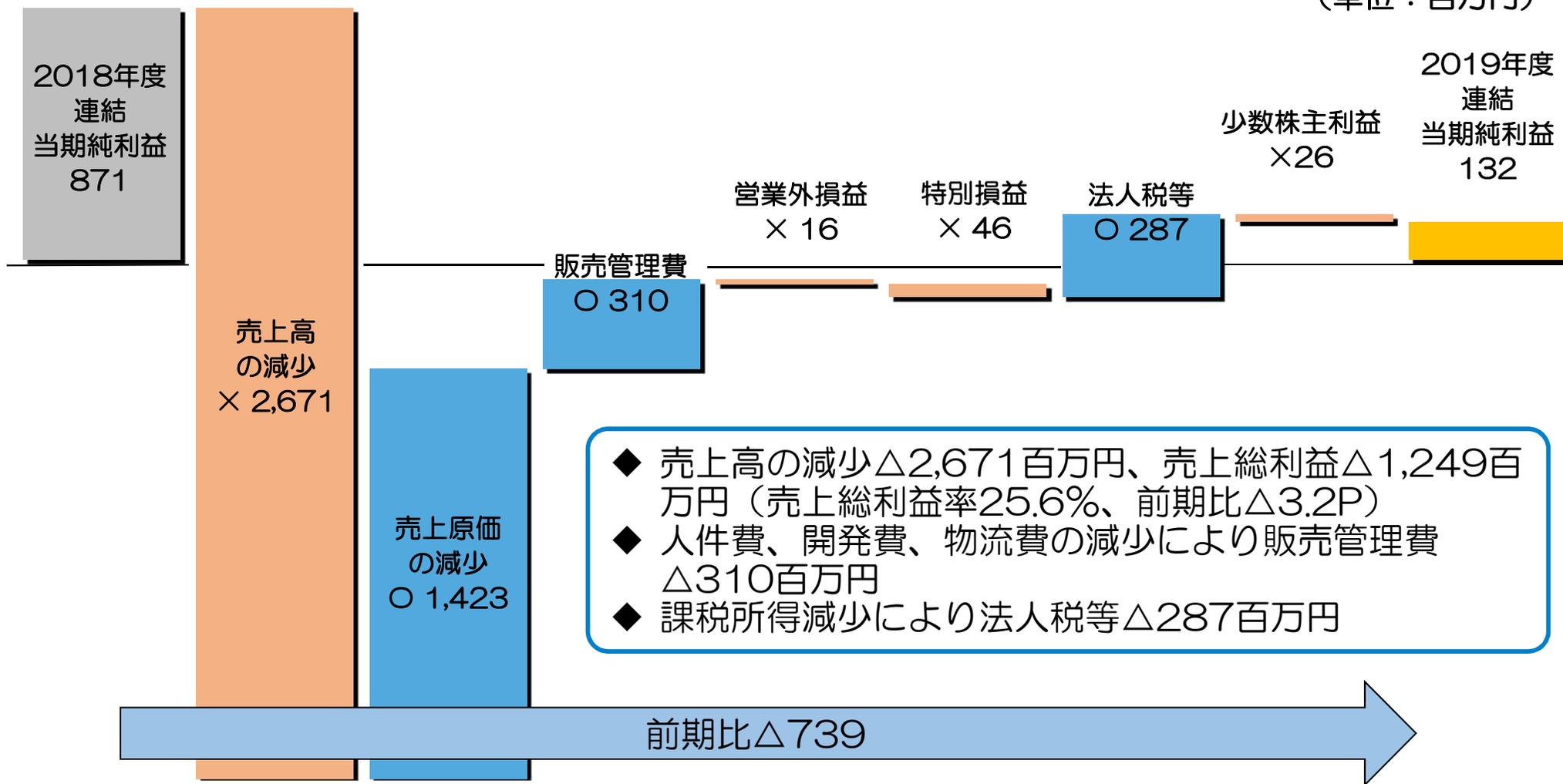
- ◆ 米中貿易摩擦の長期化、世界経済の減速及び新型コロナウイルスの感染拡大により受注（前期比26.4%減）・売上（同15.0%減）ともに減少
- ◆ 売上原価及び販売管理費の抑制に努めたものの売上高の減少を補えず営業利益（前期比73.5%減）経常利益（同77.6%減）親会社株主に帰属する当期純利益（同84.8%）とも大幅な減益

# 連結業績推移



## 連結当期純利益の変動要因

(単位：百万円)



# セグメント別概要

(単位：百万円)	受注高	売上高	営業損益
駆動システム事業 (前期比増減)	4,901 (▲3,466)	6,937 (▲1,318)	358 (▲538)

- ◆米中貿易摩擦の長期化、世界的景気減速の影響で、期待していた半導体業界等の市況回復に遅れ
- ◆工作機械業界等の需要の大幅な落ち込み、新型コロナウイルス感染拡大による受注の低迷
- ◆大幅な受注減となるも、売上高は受注残の消化により落ち込みを最小限に

金型システム事業 (前期比増減)	4,296 (▲327)	3,551 (▲1,077)	▲242 (▲410)
---------------------	-----------------	-------------------	----------------

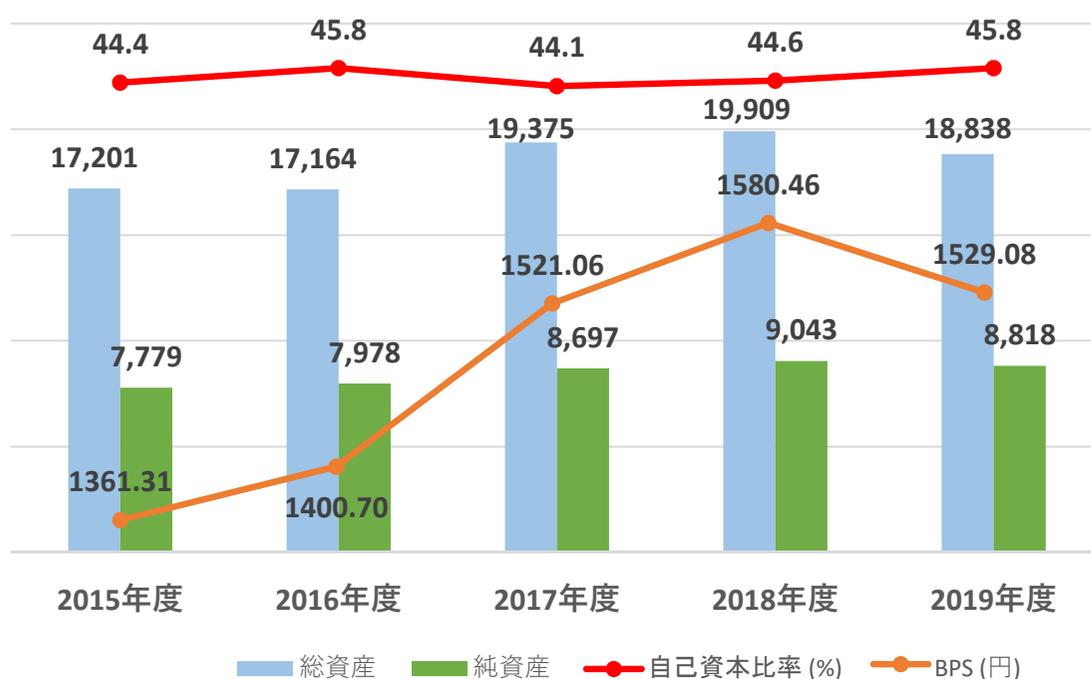
- ◆世界的景気減速による投資抑制の影響で、産業用金型・家電用モーターコアの受注・売上が減少
- ◆新型コロナウイルス感染拡大の結果、予定していた金型の出荷停止、マレーシア現法の操業休止
- ◆利益面では売上の減少に加え、新規PJ向け技術開発に係る先行投資負担により営業損失を計上

機工・計測システム事業 (前期比増減)	4,160 (▲1,038)	4,613 (▲324)	255 (+12)
------------------------	-------------------	-----------------	--------------

- ◆自動車・半導体業界における投資抑制、ロボット・工作機械市場の低迷による受注減が影響
- ◆売上高は、平面研削盤の売上堅調、国内子会社の売上好調により、落ち込みは軽微に
- ◆利益面では利益率の改善・販売管理費の圧縮等が寄与し、前期並みを維持

# 2019年度 連結貸借対照表

	2018年度	2019年度	増減
総資産 (百万円)	19,909	18,838	▲1,071
純資産 (百万円)	9,043	8,818	▲225
自己資本比率 (%)	44.6	45.8	+1.2
1株あたり純資産 (円)	1580.46	1529.08	▲51.38



- ◆ 総資産：流動資産△1,024百万円（現預金及び売上債権の減少等）、固定資産△46百万円（有形固定資産+464百万円、投資有価証券△357百万円等）により△1,071百万円
- ◆ 純資産：その他包括利益累計合計額△266百万円（その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定等）を主要因として△225百万円
- ◆ 自己資本比率：+1.2P

# 配当及び株主還元について

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
年間配当金（円）	※5.00	※10.00	12.50	25.00	15.00
配当性向（％）	—	56.7	27.8	16.1	64.0

※ 当社は2017年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を実施しており、年間配当金については当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

- ◆ 当期の剰余金の配当支払につきましては、1株当たり15円00銭の期末配当を予定しております。また次期の年間配当につきましては、現時点で業績予想の算定が困難であるため、未定といたします。配当額の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。
- ◆ 当社の配当政策は、企業体質強化のための内部留保の充実を勘案しつつ、業績に裏付けられた安定的な配当を継続して行うことを基本方針としております。特に一定の計算式を用いて配当額を定めることはいたしておりませんが、収益状況、経営環境を勘案し、都度適切な配当額を決定したいと考えております。

- ◆ 今後の見通しにつきましては、世界の経済、社会生活において新型コロナウイルスの感染拡大の影響が深刻となっており、パンデミック終息時期の見通しが立たない中、国内外の経済情勢の先行きを見極めることは困難な状況となっております。このような状況下において、当社グループは感染拡大防止に最大限の配慮を払いつつ、事業環境の変化に対して適時適切な対応を行い、メーカーとしての供給責任を果たして参る所存です。
- ◆ 次期の業績および年間配当につきましては、新型コロナウイルスが世界経済に与える影響等、現時点では不確定要素が多く合理的な見通しを立てることが困難なため未定とし、今後合理的に予想可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 4. 今後の取り組み

## ◆ 「コロナショック」後に予想される構造変化と当社にとっての事業機会

- 健康、環境、働き方への社会の意識の変化
- 自動化・ロボティクスの加速
- IoT化/5Gの加速と半導体需要の拡大
- 自動車におけるCASEの進展
- 医療・ライフサイエンス市場の拡大

当社事業	注力市場/分野
駆動システム事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 半導体製造装置分野でのポジション強化</li> <li>• 医療、分析装置、FA等自動化市場</li> </ul>
金型システム事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新エネルギー車用モーター市場</li> <li>• ロボット用サーボモーター市場</li> </ul>
機工・計測システム事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 半導体ウェーハ、ロボット/EV用減速機</li> <li>• 医療/5G/VR 関連精密加工分野、IoT関連自動計測システム分野</li> </ul>

## ◆ 当社の対応と重要課題

- 成長市場の開拓と需要構造の多様化 （景気循環からの脱却）
- 感染症対策を含めたBCPの強化
- デジタルシフトの加速と働き方改革
- 地球温暖化対策の着実な遂行と省エネ製品（高効率モーターコア等）の開発

## 生産能力増強と自動化ラインの構築

かずさアゲミ工場新棟



- かずさアゲミ工場に新棟を増設（2019年竣工）  
⇒中小径サイズ研削ボールねじの生産自動化ラインの構築
- 生産の効率化と、IT化による生産管理・品質管理の更なる高度化を目指す

生産自動化ライン



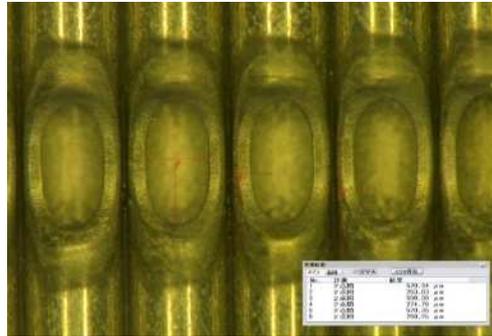
- 旭工場でも、転造ボールねじ・アクチュエータの生産・組立てエリアを大幅に拡張
- 事業全体で75%の生産能力増強（2016年度対比）
- 今後は直動システムの新商品開発にも注力

## グローバル・プロジェクト - 新エネルギー車関連 -

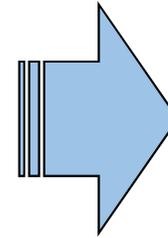


## 成長分野の深耕／新規市場の開拓

【医療】電解研削盤（バリが出ないように放電しながら研削）  
52PFⅡ（電解研削仕様）

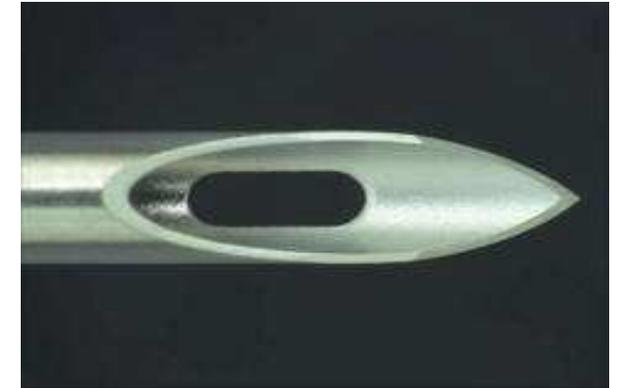


電解研削部拡大図



【最終製品例】

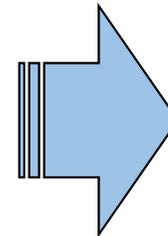
人工透析用AVF針



【光学】スーパーホーリツグマツ（マイクロレンズ用金型の鏡面磨き）  
FKP1020F



レンズ金型



スマートフォン用レンズ



## Environment 【環境】

- 環境方針の策定、環境マネジメントの継続的な改善
- 国内工場におけるCO2排出量削減目標の設定（2018年対比）  
⇒ 2030年△29%、2050年△80%
- 今後10年で約2億5千万円の省エネ対策
- 環境負荷の低減に貢献する商品分野での事業展開  
例）電動アクチュエータ  
新エネルギー車駆動用モーター  
エコセーバ（微小切削油供給機）

かずさアゲミ工場の屋上スペースに  
設置した太陽光発電パネル



## Society 【社会】

- 品質第一、健康安全第一への取り組み
- ワークライフバランスに配慮した人事制度  
例）子育て支援など
- 人財ロードマップに基づく人財育成
- 働き方改革の更なる推進  
⇒ ITを活用した業務効率化

ものづくり道場  
研修風景



## Governance 【ガバナンス】

- コンプライアンス、内部統制の徹底
- コーポレートガバナンスコードへの対応
- 役員報酬制度の改定

- ◆ 当資料は、投資家の皆さまに黒田精工株式会社への理解を深めて頂く事を目的として、経営や財務に関する情報を提供するものです。
- ◆ 当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。
- ◆ 当資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠することなく、ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

## 【お問い合わせ先】

黒田精工株式会社 経営企画室 IR担当

TEL：044 - 555 - 3800

ホームページ：<https://www.kuroda-precision.co.jp>